

## 令和7年度「東洋文庫と六義園スタディーツアー」を実施しました

1. 日 時: 令和8年3月8日(日) 12:30 ~ 16:00
2. 内 容: (1)東洋文庫ミュージアム鑑賞(企画展示「ニッポン再発見-異邦人のまなざし-」)  
(2)グループディスカッション(テーマ「展示を鑑賞し、過去の外国人の日本を見る視点についてどう感じたか」)  
(3)東京都立六義園見学
3. 会 場: 東洋文庫ミュージアム(東京都文京区本駒込)  
東京都立六義園(東京都文京区本駒込)
4. 参 加 者: 18名(中国8名、モンゴル2名、イタリア、カナダ、台湾、ニカラグア、パレスチナ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー各1名)

### 5. 実施状況:

外国人留学生が我が国の文化や歴史を学習する機会を設けることにより、留学の意義をより高め、我が国の歴史と文化に対する理解の増進を図ることを目的とし、東洋文庫ミュージアムと六義園においてスタディーツアーを実施、外国人留学生18名(10か国・地域)が参加しました。

最初に東洋文庫ミュージアムを訪れ、研修室において、公益財団法人東洋文庫より、東洋文庫概要説明及び企画展示の見所解説を聞きました。

次に、5グループに分かれ自己紹介の後、東洋文庫ミュージアムに移動し企画展示「ニッポン再発見-異邦人のまなざし-」を鑑賞しました。本展示は「日本における異文化との接触・交流の足跡、そして外から見た日本のイメージの変遷をたどり、日本を訪れた外国人は、日本にどのような印象を持ったのか、海外の文献の中で日本はどのように記述されてきたのか、歴史的な出来事はどのように認識されているのか。」をテーマに、マルコ・ポーロの「東方見聞録」やラフカディオ・ハーンの「ラフカディオ・ハーン書簡集」などが展示されていました。研修室に戻り、「展示を鑑賞し、過去の外国人の日本を見る視点についてどう感じたか。」のテーマで、グループディスカッションをしました。「過去の外国人は、主に旅行者や研究者として短期間日本を訪れることが多く、日本を『外から観察する対象』として見ていたと思う。それに対して、現代の私は、留学生として日本で生活しているため、日本社会の中で実際に生活しながら日本を見る立場にある。そのため、文化だけでなく、日常生活や社会の仕組みなど、より身近で具体的な視点から日本を理解している点が違うと思う。」などの意見が寄せられました。また、マルコ・ポーロは中国、モンゴル、イタリアの教科書にも載っており、初めて東方見聞録の実物を見ることができ、大変興味深かったという話がありました。

次に、六義園を見学しました。六義園は元禄8年(1695年)、柳澤吉保が五代将軍・徳川綱吉より下屋敷として与えられた駒込の地に、7年の歳月をかけて和歌に詠まれた名勝、景観88境をイメージして造園されました。ボランティアガイドによる和歌を中心とした解説を受けながら、園内を散策しました。当日は快晴で、庭園散策日和となり、美しい風景に参加者も目を細めていました。

今回のスタディーツアーは、教育的なテーマでありながら、視覚的にも楽しめる内容で、参加者の知的好奇心を満たすイベントとなりました。

### 6. 参加者の感想

- ・このイベントで東洋文庫について初めて知りました。その豊かな書籍と研究に感銘を受けました。
- ・中学校高校の時の歴史教科書に記載されているものが見られて、とても貴重な経験で良かったです。
- ・東洋文庫にはアジアに関する貴重な資料や本がたくさん展示されていて、普段はなかなか見ることのできない内容に触れることができました。本の展示だけでなく、空間の雰囲気も落ち着いていて、本に囲まれているよう

な特別な感覚がありました。アジアの歴史や文化を外国人の視点から知ることができ、とても興味深かったです。また機会があれば、ゆっくり時間をかけて見学したいと思います。

- 過去の外国人と現代の外国人である私の「ニッポンを見るまなざし」には、共通点と違いの両方があります。共通点として、日本の礼儀正しさや秩序のある社会に強い印象を受ける点が挙げられます。私も日本に来た時、人々のマナーの良さや時間を守る姿勢に感心しました。一方で、違う点は情報環境です。過去の外国人は日本についての情報が少ない状態で日本を見ていましたが、現代ではインターネットや SNS を通して事前に多くの情報を得ることができます。そのため、私はある程度日本のイメージを持った状態で来日しました。このように、現代の外国人は日本をより多くの情報をもとに理解していると思います。
- 六義園のツアーは短時間でしたが、ガイドの知識と説明が日本庭園を別の視点で見るのに役立ちました。

## 7. スタディーツアーの様子



東洋文庫による解説



オリエントホールの検索機で解説を聞いているところ



モリソン文庫見学



企画展示室見学



グループワークの様子



グループワークの様子



六義園のボランティアガイドによる案内



東洋文庫にて



六義園にて

以上